

富津市立保育所自己評価書

(飯野保育所)

- A → 大変よい
- B → よい
- C → 一部検討を要す
- D → 改善を要す

評価期間 令和5年4月～令和6年2月

令和6年3月

項目	内 容	評価 A. B. C. D	評価の根拠・改善策等
生命の保持・健康	<p>家庭との連携を密にし、嘱託医との連携を図りながら、子どもの疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努めている。</p>	A	<p>・家庭との連携を密にし、毎朝ミーティングのなかで、一人ひとりの健康状態など各クラスの情報交換を行い、担任だけでなく全職員が把握している。感染症対策等、配慮し安全な保育環境の維持に努めている。事故防止対策として、戸外遊びの時には、必ず見守り職員1名を立てるよう体制の見直しを行った。</p>
	<p>愛情豊かな受容の下で、安定感を持って生活し、食事や午睡、遊びと休息など、快適な生活のリズムが形成されている。</p>	A	<p>・保育士や周囲の大人に見守られ安心して過ごせる環境づくりを行っている。基本的な生活習慣のもと、家庭の様子を聞きながら、子どもたちの個々の状況に合わせた食事量や休息を取っている。</p>
	<p>様々な活動に親しみ、楽しんで取り組んでいる。</p>	A	<p>・日々の保育のなかで、子どもの興味のあることやその季節にしかできないことを保育に取り入れている。子どもの主体的</p>

			な保育のなかから、運動会や発表会の行事に繋がっている。
人間関係	子どもたちが保育士等に思いや行動を受け止めてもらい、応答的な関わりの中で、安定感をもって過ごせている。	A	・子どもたちを尊重しながら、自己決定する力を育ててきた。クラス担任に限らず、様々な職員が関わりながら安定した関係のなかで過ごしている。
	生活や遊びの中で、身近な人への関心を持ち、真似をしたり、ごっこ遊びを楽しめるようにしている。	A	・お楽しみ会の脱出ゲームを機に年長児に憧れを持ち、意欲的に活動している。小学校の運動会練習を見に行き、応援合戦に興味を持ち、当日も迫力ある応援を行った。消防署見学や消防訓練をきっかけに職員と消防車を作り消防ごっこなどの遊びが発展している。
	自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付くよう促している。	A	・子どもたち自身が自分の思いを言葉にし、相手に伝えることを大切にしている。自分の思いを伝えられない子や年齢の子には、職員が仲立ちをし、代弁しながら思いを伝えている。

	生活や遊びの中で決まりの大切さに気付き、守ろうとする意識が育つよう援助している。	B	・職員が一方的に決めるのではなく、子どもたちと相談しながら、約束を決めている。そうすることで子どもたちの意識が育っている。年齢や個々に合わせたより良い言葉掛けや援助を全職員が取り組んでいく。
環境	安全で活動しやすい環境の下で探索活動を通して五感の働きを豊かにする機会を作っている。	A	・毎月遊具点検を行っている。時間に余裕を持ち、子どもたちが満足行くまで遊びを行えるよう環境を設定している。
	生活や遊びの経験を重ねながら、形、色、大きさ、量、音などの物の性質に気付くよう働きかけている。	A	・野菜や草花を育て収穫しながら、色の違いや量、感触に気づく事があった。生活のなかで子どもたちが気づき感じられている。
	自然に触れて遊ぶ中で、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く機会を作っている。	A	・恵まれた環境の中で散歩や自然にふれながら、気づいたことや体感したことを友だちや職員と共有し楽しんでいる。年間をとおして、野菜や草花を育て、草取りや水かけなどの世話をしている。あおむしからさな

			ぎ、蝶への成長を観察し その変化に興味を持つこ とができた。
	日常生活の中で、数量や図形、標識や文字など に関心をもつよう心がけている。	A	・三角形の積み木を「お にぎりみたい」とその子 なりの表現で楽しんでい る。3歳以上児は興味を もって文字や形に親し み、手紙交換を楽しんで いる。
言葉	保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、 自分の要求や気持ちを伝えられるよう配慮して いる。	A	・共感したり気持ちを代 弁したりしながら思いを 伝えられるようにしてい る。職員の関わり方や声 のトーンなどに気を付 け、穏やかに過ごせる環 境づくりを心掛けてい る。
	絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返し たり、模倣したりして言葉の感覚が豊かになる よう働きかけている。	A	・絵本や紙芝居、わらべ うた等に親しんでいる。 移動図書や貸出絵本を利 用し好きな絵本は繰り返 し読んでもらっている。 今年度より年長、年中児 はおはなし会に参加して いる。年長児は素話を聞 き想像力を豊かにし楽し んでいる。

	保育士等や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみをもって聞いたり、話したりできるように配慮している。	A	・ゆっくりと1対1で話をすることを心がけている。その経験から友だちの話の聞けるように関わっている。
	生活の中で必要な言葉の意味や使い方を知ることができるよう心がけている。	A	・職員が手本となり、貸し借り等の言葉を伝えている。伝えたい思いを汲み取り代弁している。
表現	水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れ五感を使い楽しむ機会を作っている。	A	・園庭の水たまりや風などを感じ、その時季ならではの遊びを楽しんでいる。自然物を使って、製作を楽しんだ。
	音楽に合わせて体を動かすことの楽しさを味わう機会を作っている。	A	・年間をとおしてリズムやわらべうた、季節の歌を歌ったり表現したりしながら過ごしている。
	生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむよう働きかけている。	A	・子どもたちの気づきや発見を共感し楽しめるようにしている。雨や風の音、木々の揺れる様子など五感を使って感じられるようにしている。
	生活の中で、保育士等や友達と感動を共有することや伝え合う楽しさを味わえるよう心がけている。	A	・楽しいことやうれしかったことを見逃さないようにし、友だちや職員と共有できるようにしている。

保護者への支援	一人ひとりの保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などの機会を作っている	A	・連絡帳や保育参加では個別面談を行い、家庭の様子を聞かせてもらい、保育所の様子を知ってもらった。要望に応じて個別面談を行い、相談に乗る機会を設けた。
	家庭状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	A	・保護者と情報交換したことは、保育日誌や児童票に記録し保育に活かしている。
	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、迅速に対応している。	C	・保育参加後に全保護者との面談を行っている。それ以外にも、随時個別に相談を受け対応しているが、不十分なところもあったので、検討していく。
行事	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。	A	・子どもの興味や季節を感じられるねらい、計画をたて、実施している。
	保護者の願いや意見を取り入れている。	A	・保護者との会話やアンケートから要望を汲み取り、保護者との卒園製作や保育参加の延長を実施し好評であった。運動会後には、保護者会との話し合いの場を設け意見を

		聞き、次年度への参考にしている。
	計画・実施・評価・改善の体制をとっている	B ・行事ごとに企画書を作成し、全職員が共通理解のもと、実施している。実施後には振り返りを行い、次回に活かしている。より良い保育を行うために、行事への取り組み方を話し合っていきたい。
その他	乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っている。	A ・守秘義務やプライバシー保護を全職員が遵守している。個人情報に関する文書は場所を決め、鍵を掛け保管している。
	園内研修を実施している。	B ・その時に必要と感じられる事について、園内研修を設けている。全職員で受けられるよう回数を増やすなどの工夫をしていく。
	掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している。	B ・各保育室前の掲示板に日々の保育の様子を写真付きで知らせている。感染症状況については細かく記載するように変更した。